

# 第2回 中央公園・せせらぎ遊歩道

## WORKSHOP NEWS ワークショップニュース

日時：平成27年2月7日(土) 10:00~12:00  
場所：アステ川西 6F アステ市民プラザマルチスペース2  
出席者：25名 (他市4名、コンサルタント5名)



このたびは「平成26年度 中央公園・せせらぎ遊歩道ワークショップ」にご参加・ご協力いただきありがとうございます。

第2回のワークショップでは「中央公園・せせらぎ遊歩道の具体的な利活用のイメージを膨らませよう!」をテーマに、上野信子さん(大阪市立大学)から地域の活力が出てくる公園活用の事例や取組のアイデアについてお話を伺いました。大変参考となるお話で講義後も質疑が活発に行われました。上野先生、ありがとうございました。その内容をまとめましたのでご覧ください。



### ワークショップってなに?

地域の方の考えや意見を把握し、合意形成を図るための手法です。



### ワークショップの流れ

開催あいさつと本日のワークショップ内容の説明

・はじめのあいさつと、本日のワークショップの目的、内容について説明を行いました。また、本日の講師である上野先生の紹介をしました。

第1回ワークショップの振り返り

・1/17に実施した第1回ワークショップの意見概要について振り返りを行いました。

公園等の利活用における先進事例

・上野先生から公園の利活用における先進事例について講演をしていただきました。  
・大阪市内で先生が実際に取り組まれている公園の事例をもとに、公園を利活用していくのにどんな取り組みをされているかについてお話をいただきました。

お話しを伺った感想や質問等

・中央公園やせせらぎ遊歩道ではどんな取り組みが可能か、どんな課題をクリアすべきか等、先生のお話を川西市に置き換えて、市民の皆さんから様々な感想や質問をいただき、先生からご回答をいただきました。

情報提供

・市民の皆さんや事務局から今後の市民活動への取り組みに関する情報を提供していただきました。

おわりのあいさつ



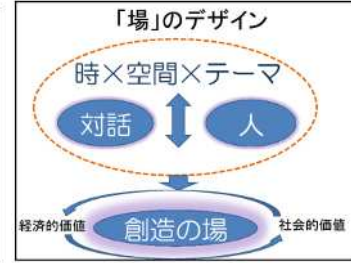
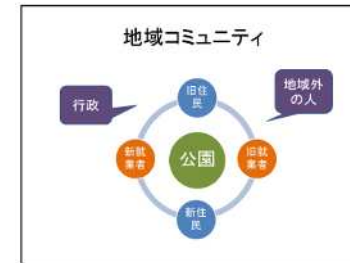
### 上野先生から中央公園・せせらぎ遊歩道の具体的な利活用のイメージについてお話しを伺いました

#### 講義の内容 (当日資料の一部抜粋)

資料提供 上野先生

地域コミュニティと公園

「場」のデザインの研究



平成26年度 第2回  
中央公園・せせらぎ遊歩道WS  
大阪市立大学 都市研究プラザ  
特別研究員 上野信子  
2015.2.7

今日の話題

- (実験的に行っている)街区公園の活用事例
- 1.新街・アワザサーカス:地域交流、イベント
- 2.Community meeting:地域交流、そうじ
- 3.街区公園勉強会:コアメンバーづくり

阿波座公園の概要紹介



地域の今昔 写真展開催



植栽管理とクリスマスリースづくり



イベントを地域参加で実施

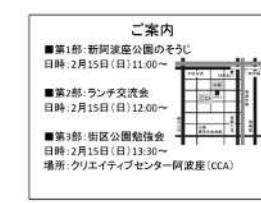
アワザサーカス(2013.9.21)



コミュニティミーティングを実施、コアメンバーづくり



公園の手入れと交流会、勉強会をセットで開催



2つの近接した公園で共催



○講演状況



#### 感想や質問など

**WS メンバー** お話しいただいた活動やイベントができるインフラ整備は可能であり、今後は川西の特徴を出す公園づくりが大切であると考えている。川西市は縄文文化が続いており、文化遺産を発信するような公園づくりを行い、まちに愛着をもつところからやってゆけるとよいと思う。  
**UENO** 多様な場がありそれを重ねていくことが大切。史跡に興味がある人だけでなく周辺の人にも知ってもらう仕掛けが必要である。いろいろな人が集まる場があり、人が場を繋いでいく、そしてそれが持続につながる。

**W** 神戸の「みなとの森公園」では企業も加わって市民参加で苗木を育てており教育の場にもなっている。整備する段階から市民活動の場として発展していく仕組みがあるとよいと思った。

**U** 阿波座公園で公園勉強会が立ち上がった経緯として、公園で育った地域のリーダーが公園を何とかしたいという思いがあった。継続的に発展させていくためには子どもが遊んでいることが重要。植栽の面からは中長期的な視点で維持管理を考えていくとよい。

**W** 市内各地で魅力的なイベントは実施されているがバラバラな感じがあり、いかにつないでいくかが公園の役目だと思う。既に住んでいる場所には愛着があるが、コミュニティがこれからの場所で愛着を持っていくにはどうしたらよいか。

**U** 使いこなさないと愛着は出てこない。この近辺にはプール、遊歩道などいろいろな連携できる施設があり、中央公園をコアとして「こと」を月1、2回、起こし、この公園から外に徐々に広げていく。最初から都市全体の活性化と考えると荷が重いのでは。

**W** 「○○はいけません、○○はあかん」という公園が多い。中央公園はどのようになるのか。地域分権で行政は考えていると聞いている。

**U** 都市公園法の規定でグレーとなっている部分をクリエイティブに活用し、小さなことから実験を繰り返して安全であることや必要であることを積み重ねていく。公園のきまりについていえば答えがない部分でもあり今後の課題である。行政にも新しい取り組みには説明が必要である。

**W** イベントが実施されるようになって公園の利用者数や町会入会者動向、ゴミ捨ての状況はどうなったか?

**U** データはないが、公園に親しみを感じている人は確実に増えている。町会関係としては、公園に関心が高まることによって企業もメリットを感じており、町会に対する変化がある。ゴミが減ったとかの急激な変わり方もしていない。これらの問題については、5年、10年といった中長期的な判断が必要かなと思っている。

### ワークショップ後のひとこと感想(一部)

前回、話し合ったことが具体的な例を見させていただけるお話だったと思います。場をつないでいくこと、企業や地域とつながること、広報など、もっと、具体的にどうするのか?どう動くのかをもっと知っていきたく思います。/市内個々に点在する賑わい。安らぎの場を中央公園でいかに集約していくか。大きな命題を感じました。(大規模公園ならではの課題)/場の形成という事でいうと、テーマが必要だと思います。そういう意味では中央公園という名前、ネーミングにもう一工夫必要なのは。せせらぎ・・・ははっきりしたネームで良いと思いますが・・・/新たなコミュニティを形成する今回のプロジェクトに対して、既存のコミュニティの元気な事例のお話は多くのヒントがあったと思います。/子どもさんが一緒に色々な意見はあると思いますが子ども~高齢者が集まるのが公園なので、今日はその縮図といえるのでOKではと思いました。しかし、講義メインの時は託児スペースがあると気兼ねなく子育て世代は参加しやすいかもしれませんね。/都市公園でのすばらしい活動は参考にしたいです。しかし、川西市は自然が周辺をしめています。そこで魅力的な公園づくり、課題は市民の自然離れが見られる。自然をどのようにまとめるか、皆様総意が大切だと思います。/川西の点在している、地域愛、情熱、etcをつなぐ公園であってほしいと思いました。市民、三世代(老若男女)が集える場したい、北からも南からも手軽に通える場にして頂きたいです。 などなど

### ワークショップニュースあとがき

上野先生、御講演ありがとうございました。これまでどちらかという公園づくりはハードが中心でしたが、これからはどのように公園とかかわるか、どのようにまちをつなげていくかという観点が重要であることを事例などを通してわかりやすく教えていただきました。今回の講演内容を、今後の取り組みに活かし、少しづつ運営の形を共有していけるようにしていきたいと思っています。

なお、講演の途中でパソコン画面が消えてしまい、先生や参加者の皆様にご迷惑をおかけしまして申し訳ございませんでした。

### 次回ワークショップ 3月8日(日) 10:00~12:00

アステ川西 6F アステ市民プラザマルチスペース2で開催予定。ご参加をお待ちしております。

今回は、また、分野別(イベント活動、子どもの遊びや自然観察活動、公園美化活動、公園利用ルール等)でのグループ会議を予定しています。どんな活動をどのように実現していくとよいか、皆さんで考えましょう。

<お問い合わせ先>  
川西市中央北整備部中央北推進室地区整備課  
担当:北野、半田、藤田  
TEL:072-740-1207 メール:kawa0193@city.kawanishi.lg.jp